

総連会長⇒地区連会長⇒支部長⇒会員各位

令和3年1月19日
白鳩会大阪教区連合会
会長 房本喜久美

白鳩会便り No.39

合掌、ありがとうございます。

小正月も終わり、普段の生活が戻って参りましたが、大阪府では1月14日から2月7日まで緊急事態宣言が出されました。飲食店に対する営業時間の時短要請、外出自粛の要請、テレワークの推進がポイントとしてあげられていますので、2月7日までは、不要不急の外出を避けて、出かけるときはマスクをしてなるべく短時間で、帰られたら、うがい、手洗いを忘れずにしましょう。どうぞ、安全にお過ごしくださいますようお願いいたします。

さて、今回の緊急事態宣言により、1月31日（日）の各組織合同会議と2月2日（火）の白鳩会分科会は、ハイブリッド型での参加をして頂けなくなりました。多くの皆様にご覧いただきたいと思っておりましたが、残念です。しかしながら1/15の参加報告で、ハイブリッド型で報告を下さいました皆様にも、「2021年運動方策」と2021年度版「創造手帳」をお届けいたします。ハイブリッド型での参加を予定して下さっていた皆様は「2021年運動方策」がお手元に届きましたら、白鳩会運動方策の所をよくお読みいただきまして、今年の運動の流れをご理解いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

そして、教化部ならびに白鳩会事務局の開館時間は2月末まで10時から4時半となっていますので、ご注意ください。休館日は木曜日です。

また、1月21日（木）午後3時より新しい取り組みと致しまして、普及誌購読者拡大対策部により「輝く普及誌朗読ネットフォーラム」が始まります。普及誌3誌の素晴らしい記事を対策部の皆様が朗読してください。「大阪しろはとLINE」で開催させていただきますので、21日午後3時になりましたら、「大阪しろはとLINE」にお入りください。

谷口雅春先生著『幸福生活論』195頁より

「私の心の中には、過去の青年時代の自分が浮かびあがってきた。空気を吸っても、空気の中の微生物を殺さねばならぬし、道を歩いても無数の昆虫その他の小さな虫を踏み殺さなければならぬ。思えば息を吸うことも、水を飲むことも、歩むことすらも出来ない世界に窒息しそうなその頃のひたむきな自分を思い出したのである。「・・・そうしてできるだけ自分を追いつめて往って、もう二進（にっち）も三進（さっち）も行かなくなったとき、詫びつつ祈り祈りして生活する。兎も角も殺生を正面から肯定しては可けない。そこから忽然別の世界がひらかれて来るのですよ。殺し合いだと見えた世界が、殺し合いの世界でないとわかってくる。生命は互いに問題と課題を提供しつつ生かし合っている。生命は死なない。永遠に死なないということが解って来ます。色々の問題、切実な悩みは、それを解決しようと努力することによって、魂が進化し向上するための課題だとわかってまいります。」

殺生を肯定せず、この世界は愛に溢れた生かし合いの世界であると感謝しながら過ごさせて頂きましょう。

再拝